

ノルシュテインの 創作の全貌が 今、明かされる

フランチェスカ・ヤールブソフ 《真昼》
映画のエスキース、1979年



フランチェスカ・ヤールブソフ
《明るい光に向かうオオカミの子》
映画によるエスキース*、1985年

Tale of Tales Yury Norshtein & Francheska Yarbusova

話 の 話

ロシア・アニメーションの巨匠
ノルシュテイン&ヤールブソフ



* 映画製作後に描かれた作品で、ノルシュテインの用語です。

ロシアを代表するアニメーション作家ユーリー・ノルシュテイン（1941-）と、その作品の多くの美術監督を務めるフランチェスカ・ヤールブソフ（1942-）夫妻のこれまでで最大の展覧会を、ノルシュテインが愛する日本で開催します。

本展覧会のタイトルにもなっている、彼の経験と思い出に基づく映画『話の話』（1979）は、1984年に35人の国際的な評論家や企画者によって、「歴史上、世界最高のアニメーション」に選ばれました。「映像の詩人」とも呼ばれるノルシュテインの映像は切り絵による繊細な表現で、鋭い観察眼から生み出された詩情溢れる映像世界は人間や世界への愛情に満ち、また、マルチプレーンと呼ばれる多層のガラス面に切り絵を配置する手法によって創り出される彼独自の深い映像空間は、アニメーション・ファンのみならず、世界中の映像作家をも魅了してきました。

本展覧会では、ノルシュテインが監督をしたアニメーション映画を中心に、ヤールブソフの美しいエスキースや、マルチプレーンを展覧会用に再現したマケットを交え、夫妻の創作の過程、映画完成後の展開の全貌を紹介します。

会 期：2010年4月10日（土）～6月27日（日）

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1 tel: 046-875-2800

休 館 日：月曜日 [ただし5月3日（祝）は開館]、
4月30日（金）、5月6日（木）

開館時間：午前9時30分～午後5時 [入場は午後4時30分まで]

観 覧 料：一般 1100 (1000) 円 20歳未満と学生 950 (850) 円
65歳以上 550 円 高校生 100 円

※（ ）内は20名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

ファミリー・コミュニケーションの日：

毎月第1日曜日（今回は5月2日と6月6日）は、18歳未満または高校生以下のお子様連れのご家族は優待料金（65歳以上の方を除く）でご覧いただけます。

主 催：神奈川県立近代美術館、ユーリー・ノルシュテイン財団、東京新聞
協 力：アート・インプレッション、エアロフロート・ロシア航空、
カトーレック株式会社、武蔵野美術大学芸術文化学科

後 援：ロシア連邦外務省、ロシア連邦文化省、在日ロシア連邦大使館、
ロシア文化フェスティバル組織委員会

企画協力：株式会社イデッフ



ロシア文化フェスティバル
2010 IN JAPAN



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館

■お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968
広報担当：土居、稲庭 展覧会担当：粉山、土居

■プレスリリース及び展覧会情報は、 美術館ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

展覧会内容

- | | |
|--------|--|
| 第I章 | 25日——最初の日
監督・アニメーション・脚本・美術：ノルシュテイン 1968年、9分 |
| 第II章 | ケルジェネツの戦い
監督：L. イワノフ＝ワノー／ノルシュテイン
アニメーション：ノルシュテイン 1971年、10分 |
| 第III章 | キツネとウサギ（ウラジーミル・ダリー採集のロシア民話に基づく）
監督・アニメーション：ノルシュテイン
美術：ヤールブソフ 1973年、12分 |
| 第IV章 | アオサギとツル（ウラジーミル・ダリー採集のロシア民話に基づく）
脚本：R. カチャーノフ／ノルシュテイン
監督・アニメーション：ノルシュテイン
美術：ヤールブソフ 1974年、10分 |
| 第V章 | 霧の中のハリネズミ
監督・アニメーション：ノルシュテイン
美術：ヤールブソフ 1975年、10分 |
| 第VI章 | 話の話
脚本：L. ペトロシェフスカヤ／ノルシュテイン
監督・アニメーション：ノルシュテイン
美術：ヤールブソフ 1979年、29分 |
| 第VII章 | 外套（制作中）
監督・アニメーション：ノルシュテイン
美術：ヤールブソフ |
| 第VIII章 | 冬の日「狂句木枯らしの身は竹斎に似たる哉」
（連句アニメーションの発句部分）
監督・アニメーション：ノルシュテイン
美術：ヤールブソフ 2003年、2分 |





1.



4.



7.



5.



8.



2.



6.



3.

展覧会関連プログラム

担当学芸員によるギャラリートーク

5月13日(木)、6月17日(木) 各回 午後2時より
申込不要、無料(ただし「話の話」展の観覧券が必要です)

ノルシュテインのアニメーション作品の上映(DVDによる)

◎午前のプログラム(開館各日 午前11時より)
「25日——最初の日」、「キツネとウサギ」、「霧の中のハリネズミ」
「冬の日」(発句)、「外套」(部分)
◎午後のプログラム(開館各日 午後3時より ※4月10日のみ午後1時30分より)
「アオサギとツル」、「話の話」、「冬の日」(発句)、「外套」(部分)

申込不要、無料(ただし「話の話」展の観覧券が必要です)
当日先着順、定員制(ご覧いただけない場合もあります)
*詳細は決まり次第、美術館ホームページにてお知らせします。

1. ユーリー・ノルシュテイン《14歳の自画像》1955年、油彩・ボード
2. ユーリー・ノルシュテイン《アンネンコフ、レベテフ、ペトロフ=ヴォトキンの作品によるコラージュ》1967年、水彩・グアッシュ・紙 [第I章]
3. フランチェスカ・ヤールブソフ《出てこいキツネ!》(書籍『きつねとうさぎ』の挿絵) 2009年、テンペラ・水彩・ホワイト・紙 [第III章]
4. フランチェスカ・ヤールブソフ&ユーリー・ノルシュテイン《あすまやのアオサギとツル》(映画によるマケット) 2005年、混合技法 [第IV章]
5. フランチェスカ・ヤールブソフ&ユーリー・ノルシュテイン《ハリネズミの後を歩くミミズク》(映画によるマケット) 2005年、混合技法 [第V章]
6. フランチェスカ・ヤールブソフ&ユーリー・ノルシュテイン《真昼》(映画によるマケット) 2000年、混合技法 [第VI章]
7. ユーリー・ノルシュテイン《雪を吹き払うアカーキー・アカーキエヴィチ》
(「アカーキー・アカーキエヴィチと文字「A」と外套」の場面のエスキースno.2) 1998年、鉛筆・オイルパステル・紙 [第VII章]
8. フランチェスカ・ヤールブソフ&ユーリー・ノルシュテイン《笠を空に放り投げる竹斎》
2005年、鉛筆・ニードル・水彩・オイルパステル・セルロイド・紙 [第VIII章]